

受入先	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 6 年 1 2 月（着任 1 年 6 カ月目）
主な活動	1 西穎娃駅清掃 2 鹿児島県地域おこし協力隊地域交流会参加

1. 西穎娃駅年末清掃

駅の清掃は普段の業務でも行っているものの、待合室の窓ガラス、天井の高い場所の清掃はベンチを移動させて行うことが多く、場所によっては脚立を使うこともあり、業務の中で手を付けにくいことがあります。

年末ということもあり、駅構内もきれいにして新年を迎えたい、という思いを持つ人が集まって待合室を中心に清掃を行いました。

天井のすす払いは電灯がある場所を中心に行いましたが、普段できない場所ですので、この機会にきれいにしたい気持ちとは裏腹に、普段行わないためか道具を上手に使いこなせず、最初は清掃したい場所に手が届かないこともありました。

窓ガラスの清掃も行いましたが、高い場所を清掃できる用具を使って行ったものの、普段使っていないためか上手くいかなかったこともありました。

ようやく終わることができ、きれいになった駅を見たときは、清掃してよかったという満足感で包み込まれました。

現在は高校生が中心の利用者となっていますが、通過点でなく立ち止まれる駅を目指して取り組んでいきます。



【清掃作業中】

2. 鹿児島県地域おこし協力隊地域交流会参加

県内で活動する地域おこし協力隊の方々とともに、担当地域外の箇所での取り組みを視察する交流会に参加しました。

南九州市からは大野岳や開聞岳が見えますが、鹿児島県外からの旅行者にとって有名な桜島。桜島をまるごと博物館にしよう、とする取り組みを行う NPO 法人桜島ミュージアム福島様の講義では、新たな特産品である椿油づくりにかける思いや、あるものを活かしてどのように事業化させるかを学びました。その後、桜島ミュージアムで桜島の成り立ちについての講義があり、自然の資源を活かした取り組みについては、実際に島内を一周し、視察を行いました。

椿の木が生えている場所の見学は初めてであり、種の採取から製油について講義を受けました。また、噴火した年代ごとに異なる植生となっていることは、実際に訪問して気づき、興味を持って観察することの大切さ、そこから新たな発見があることを感じました。

また、廃校となった改新小学校の建物活用法では、芸術性を取り入れた仕組みなどを学ぶことができ、近くにあるゲストハウスと一体化した取り組みを学ぶことで、自らの活動である、西穎娃駅を使った取り組みに使えることも出てきました。

観光は様々な事柄に影響を受けるため、収入の柱を複数作っておくことの大切さ、観光客と地域住民が交流する拠点を作る大切さを学ぶ交流会となりました。



【改新小学校跡の活用】



【桜島ミュージアムでの講義】